



倉敷市市民企画提案事業について

答 申

平成23年3月22日

倉敷市市民企画提案事業審議会

倉敷市市民企画提案事業の審査について（答申）

目 次

	頁
市民企画提案事業審査結果	1
Ⅰ 平成23年度新規事業の審査について	3
Ⅱ 平成22年度実施事業の評価および 継続審査について	15
審議会 委員	29
参考資料	
(1) 諮問書	30
(2) 提案事業一覧	31

倉敷市市民企画提案事業は、市民活動団体の公益的な活動を支援することで、市民活動のさらなる活性化を図るとともに、市民と行政の協働によるまちづくりを推進することを目的としている。倉敷市では、平成17年度から本事業を実施し、平成22年度実施事業から制度を見直すなどして、多くの成果をあげてきている。

新規事業については、昨年の10月に平成23年度事業の募集をしたところ、地域社会の課題解決につながる公益的な活動として18の市民団体から応募がなされた。また、本年度実施事業については、18事業が実施された。このことは、7年目を迎える市民企画提案事業が次第に認知されて定着し、根付きつつあることを示していると言える。本事業の趣旨を理解していただき、自発的かつ自立的に応募、実施された提案団体に対して、倉敷市市民企画提案事業審議会として衷心より敬意を表する次第である。

本審議会は、市民企画提案事業について、①目的（公益性・重要性）、②事業内容（計画性）、③費用対効果、④人材配置、⑤協働性（協働事業部門のみ）、⑥独自性・将来性の審査基準に基づき、事前の書類審査および公開プレゼンテーション、審議会委員との質疑応答などを経て、審議会の委員が総力を挙げて厳正かつ公正に審査を行った。本答申は、その結果を取りまとめたものである。

審査した事業は、分野や領域が広範多岐にわたっており、市民活動の活性化を促し、多くの市民が互いに支えあう社会の実現に大きく寄与する内容であった。本答申を契機に、「新たな公共」の理念に基づいた「市民参加による協働のまちづくり」が促進されることを期待するとともに、いっそう充実した市民企画提案事業となるよう祈念する次第である。

平成23年3月22日

倉敷市市民企画提案事業審議会

会 長 小 山 悦 司

【新規提案事業および実施事業の全体講評】

提案事業に対する全体の講評およびコース別講評については、審議会委員からの意見を以下に整理してまとめておく。なお、個々の事業に関する講評は、委員の意見を集約したものを別途掲載しているので参照されたい。

1) 活動の裾野の広がりとは他団体との連携

事業を実施することにより、今まで市民公益活動に縁のなかった方々が活動に参加し、活動の裾野が広がることが期待される。提案事業の中には、活動が自らの団体内で完結していたり、活動地域が狭い範囲に限定されている提案事業が一部見られた。また、事業内容によっては、他団体との連携あるいは自団体の積極的な情報発信により、ネットワーク化を図る必要がある。これにより、他の団体の活動に興味や関心を持ち、団体同士でお互いの得意分野を持ち寄った諸活動が展開されることを期待する。

2) 市民と行政の協働

協働事業部門は、ある程度力のついた市民団体が市と協働して事業に取り組むことでより効果が上がることが期待されている。このため、行政担当者との十分な意見交換なくしては事業の成功があり得ないが、この点で改善が望まれる提案事業が見られた。また、協働事業以外の提案の内容にも、市民目線による新たな気づきが盛り込まれているので、公開プレゼンテーションや実施報告会にもできるだけ多くの行政の担当者に参加を促し、情報の共有化を図ることが望まれる。

3) 市民公益活動の視点

「倉敷市協働の指針」にも掲げられているように、市民公益活動とは、市民、市民公益活動団体、事業者等が自主的に公益に貢献する活動で、地域課題の解決や改善に向けた、営利を目的としない活動のことである。この指針を前提として、客観的に公益性があることが認められる活動内容となっているかどうかを、応募する際あるいは事業を実施する際には、特に重視してもらいたい。

4) 次世代への継承の視点

活動内容によっては世代が限定される場合があるが、これまでの活動成果を次世代に継承していくことが求められている。特に、イベント型事業では、若年層から高齢層まで世代を越えた市民が参加できる活動が望まれる。また、従来は、事業の企画・運営についての提案を、シニア世代が中心に担っている傾向があったが、今回は青年層から構成された団体による事業提案が高い評価を得ている。このことから、活動内容に応じて多様な世代による事業提案が活発になるよう若手リーダーの養成を図ることが期待される。

5) プレゼンテーションの重要性

プレゼンテーションの技法が進化しており、今回も動画や音声を取り入れて視聴者の五感に訴えかける発表が一部見られた。一方、プレゼンテーションの技法よりも熱意あふれる気持ちを前面に押し出して感動を呼び起こす発表も散見された。いずれにせよ、書類だけでは伝えきれない提案事業の特色や独自性をアピールすることが重要である。また、他団体のプレゼンテーションを傍聴することで、自団体の優れた点や改善点を発見するとともに、同じ目的で活動する団体との接点ができ、活動の幅が広がる契機となることも期待される。

I 平成23年度新規事業の審査について

【選考過程】

はばたきコース、協働事業部門については、2月6日に開催された公開プレゼンテーションでの事業に関する説明、質疑応答を基に、事業の実現可能性や事業に対する団体の熱意を量るとともに、当初の事業計画、予算書では判断できない部分や、事業内容に精査の必要性が見られる箇所について、質問を行った。公開プレゼンテーション後の審議会で、応募書類、公開プレゼンテーション、質問に対する回答、協働事業部門に関しては担当課の意見等を総合的に勘案したうえで、審査基準に基づいて審査を行った。

めばえコースについては公開プレゼンテーションを行わず、事業計画、予算書およびヒアリングを基に、審査基準に基づいて2月6日に開催された審議会での審査を行った。

【選考基準】

公平性を確保するため、提案事業の関係者となる委員は該当する部門の審査を外れることとし、各委員ごとに採点を行うこととした。提案事業ごとに基準Ⅰに「いいえ」をつけた委員の基準Ⅱの点は0点とし、各委員の基準Ⅱの持点を100点とし、全委員の点数の平均点を得点とした。

採択基準は審議会委員の平均点の60点以上とした。

順位については、所定の公開プレゼンテーションの傍聴を行った団体の事業について、得点に10点加算した点の順とした。

【審査基準】 <評価項目および配点（100点満点）>

市民企画提案事業審査基準

審査項目			コース・部門			
審査のポイント			めばえ	はばたき	協働	
基準 I	公益性	A 不特定多数のものの利益の増進に寄与するなど公益性が認められる事業である	○	○	○	
	中立性	B 市が補助することについて、疑義が生じる要素がない	○	○	○	
	協働性	C 市民団体と行政が協働すべき領域で、市民団体が取り組む方が効果があがる事業である	△	△	○	
	全項目「はい」か			○	○	○
基準 II	① 目的 (公益性・重 要性)	1 事業になぜ取り組まなければいけないのかというニーズに共感できる	○	○	○	
		2 不特定多数のものの利益の増進に寄与するなど公益性の高い事業である	△	○	○	
		3 事業の目的や重要性は事実に基づき確認し、具体的に示されている	△	○	○	
	配点			25	25	20
	② 事業内容 (計画性)	4 目的に沿った事業計画がつけられている	○	○	○	
		5 多くの人が参加できるよう実施時期や場所などに工夫がある	○	○	○	
		6 実施にあたり、十分な準備期間・手段が取られている	△	○	○	
		7 地域住民の理解を得られ、課題解決に対する効果がある	△	○	○	
	配点			25	25	20
	③ 費用対効果	8 経費に見合う効果が見込める	○	○	○	
		9 過不足のない収支計画である	○	○	○	
		10 受益者負担を求めるなどの工夫がある	△	○	○	
	配点			25	20	20
	④ 人材配置	11 計画を遂行する技能・能力(人的資源)がある	△	○	○	
		12 他の団体と協働するなどの工夫がある	△	○	○	
		13 事業に対する熱意がある	△	○	○	
	配点			△	10	10
	⑤ 協働性	14 行政も事業の意義を理解し、目的が共有できている	△	△	○	
		15 協働することにより相乗効果が見込める	△	△	○	
		16 提案団体と市の役割分担が明確かつ妥当なものである	△	△	○	
配点			△	△	20	
⑥ 独自性・将 来性	17 先進的・先駆的な事業内容である	○	○	○		
	18 発展性・普及性がある事業内容である	○	○	○		
	19 課題解決のための中長期的な計画がある	△	△	○		
	20 団体の成長に繋がる事業内容である	○	○	△		
配点			25	20	10	

【部門別講評】

1) 創業期活動部門（めばえコース）

本部門は設立後3年未満の団体が行う事業を対象としており、自主的な活動の立ち上げを支援するものである。本年度は6件の応募があり、いずれの団体も新たな視点から地域社会の課題解決に立ち向かおうとする意欲的な事業内容になっている。特に、市が実施した地域リーダー養成講座の受講者から提案がなされた意味は大きい。また、今回は若い世代による提案が見られたことも、今後大きく期待できる点と言える。委員の中には事業の実現可能性についての十分な精査が求められるとの意見も見られた。しかしながら、芽生えたばかりの活動であるため、提案の発想に至った経緯や熱意を大切にすることで、活動内容を見守りたいと考える。

2) 公益的自主事業部門（はばたきコース）

本部門は、設立後1年以上の団体が行う公益的な自主事業を対象にしており、1団体につき3回まで補助を受けることが可能である。今年度は8件の応募があり、いずれの団体もその提案は、はばたきコースの趣旨に合致した高水準の内容であった。具体的には、創業期活動部門から、さらなる展開へとつながった団体による活動がいくつか見られた。芽生えた活動を支援することで、今後の継続・発展・充実へとつながることを期待する。しかし一方、前年度にも採択された事業は、継続的な事業であることの意味からも、これまでの実施内容を振り返り、高い評価につながる実施内容になるように、さらに充実した活動が求められる。

提案のあったすべての事業が基準点を超えていたが、採択件数に限りがあるため、順位をつけて答申することとした。審査結果は、どの団体の点数も僅差となっており、残念ながら順位が下位となり、採択されなかったとしても、今後に向けて活動の展開を期待したい。

3) 協働事業部門

本部門は、ある程度力のついた団体と市が協働して行うことで効果が上がる事業が対象になっている。今年度は4件の応募があり、いずれも比較的規模の大きな事業内容であり、その成果に対する期待には大きいものがある。一部には、担当課との連携がいま一つ図られていない提案もあったようである。

団体個々によって、入念な準備が可能であった場合と、そうでない部分もあったようである。

提案内容によっては、より詳細な準備や該当する地域団体や大学、また学生サークル等との事前の連携承諾などの必要性があると言えよう。

行政提案事業については、団体との打ち合わせや連携が密になっていたが、市民提案事業については、スムーズな行政連携が取りにくいケースもあったようである。いずれにせよ協働事業は大きな事業であり、それに見合った集客も見込める。行政と連携することで相乗効果として、より高い効果が得られるよう今後の事業展開に期待する。

【審査結果および個別講評】

創業期活動部門（めばえコース）

順位	1 位		
事業名	倉敷モノづくり体験 「バケツ・ピオトープを作ってみよう(生物群生空間づくり)」		
提案団体	倉敷モノづくりLAB		
事業費	155,000円	補助額	50,000円
事業概要	2011年7月～8月、バケツを使った簡単ミニ・ピオトープの作成と自然観察の体験講座を開催する。倉敷市内から親子・家族単位で参加者を募集して、夏休みの思い出をつくり、絆を深めるとともに、子どもたちのモノづくりと自然環境への理解と意識・関心を高める。子どもたちの夏休みの宿題(自由研究)にも一役買う。		
講評	<p>バケツを使ったピオトープ作りを通して、子どもと大人が協力し合い、一体となって、モノづくりに真剣に取り組むこと、そして、心と五感を豊かに育てる地域づくり、社会づくりを目指している。</p> <p>自然に触れ合う機会が減っている現代社会で、子どもだけでなく親と一緒に体験でき、一緒に感じるができる機会は貴重な体験だと言える。</p> <p>若い世代の事業案であり、大変期待するところである。9月ごろの交流会やフォローアップなど評価できるが、その後の評価が難しいかもしれない。</p> <p>活動の展望に記載されているように、ミニ・ピオトープからジャンルを広げ、土や木と触れ合う取り組みへと展開されるなど次のステップへとつながることを期待する。</p>		

順位	2 位		
事業名	「男おひとりさま料理カンタン教室」開講事業		
提案団体	シニア世代のサバイバル男料理の会		
事業費	260,000円	補助額	50,000円
事業概要	この事業は主にシニア世代の男性が一人になっても豊かな生活が送れるよう、その基盤となる食生活について、栄養を配慮しながら楽しく生き抜くための必要最低限の基本的な料理の作り方を学ぶ教室作りである。		
講評	<p>男性の家事への参加を促し、自立の気持ちを持たせることが、時代の要求に合致した取り組みであると考え。</p> <p>また、対象が明確に定められている点も評価できる。さらに、活動の終了後に公民館活動とリンクさせる方針である点や、教室の修了生からサポーターを養成しようとする点も適切な取り組みである。</p> <p>本提案団体は活動を開始したばかりであるので、是非とも継続的な取り組みとして発展・充実させていきたい。</p> <p>なお、55歳以上が対象であるので、定年退職後に始めるのではなく、企業の協力を得て定年間近の世代に呼びかけ、参加してもらうことも有効であるように思われる。</p>		

順位	3 位		
事業名	障がいがありながらも、みんなと同じようにパソコンを習い楽しみたい。		
提案団体	特定非営利活動法人 桃の里		
事業費	55,000円	補助額	49,000円
事業概要	桃の里の施設を利用して、障がい者や高齢者にパソコン教室を開催する。そのために机や椅子を用意し利用しやすい環境を整える。		
講評	<p>障がいのある人や高齢者の孤独感や寂しさを少しでもなくし、安心して明るい気持ちで生活を送ることができるように支援することは非常に大切であると考えている。その一環として、パソコン教室を開催することは、有意義な取り組みである。</p> <p>事業はやや小規模だが、まずは行動を起こすことから始めて、地道で着実な活動を通して、できるだけ幅広く参加者が集まるように募集を工夫されるなど、活動の輪が広がることを期待する。</p> <p>なお、机・椅子の整備だけでなく運営のための経費(例えばトナーや用紙などの消耗品)が必要であり、事業全体の予算案を示したうえで、予算計画を立てて実施されたい。</p> <p>また、活動内容に沿った適切な指導者の確保に努めるとともに、雇用形態を工夫し、ボランティアなどをうまく活用されたい。</p>		

順位	4 位		
事業名	「朗読のスキルを高める研修」受講及び朗読ボランティア事業		
提案団体	倉敷朗読ボランティア21年会		
事業費	117,000円	補助額	50,000円
事業概要	<p>団体がより質の高い継続的な活動をするために、朗読のプロによる研修を月1回程度受講し、朗読技術を磨く。</p> <p>特別支援学級等へ出向き、児童・生徒の想像力や感受性が高まるお手伝いをする</p>		
講評	<p>朗読のスキルを高める研修を通して、それをボランティアに結び付けようとしているところが評価できる。朗読内容では、子ども向けの内容から高齢者対応の内容など、さまざまである。それら聴き手のニーズを敏感に感じ取り、対応できる朗読内容へと充実されることを望む。過去の養成講座の修了生との連携やすでにある読み聞かせの会と連携するなど、統一的・効率的な活動となることを期待する。</p> <p>また、「倉敷朗読ボランティア21年会」の会員7名だけの研修活動が中心にならないよう配慮されたい。そのために、受講した成果を十分活かすとともに、倉敷市内の特別支援学級や介護施設などでのボランティア活動へと展開したり、会員以外への門戸の開放や募集や周知など検討してもらいたい。</p>		

順位	5 位		
事業名	犬猫保護活動及び地域猫活動事業		
提案団体	特定非営利活動法人 Teamちいさな足あと		
事業費	230,000円	補助額	50,000円
事業概要	野良犬・野良猫を保護し、飼ってもらえる里親に譲り渡す。また、野良猫について、里親が見つからず、地域住民の理解が得られる場合には、避妊去勢手術をして元の場所に戻す。		
講評	野良犬や野良猫を保護し、譲り渡し先を検討するなどの活動は、動物愛護の観点からも非常に評価できる。社会のニーズとしても、殺処分される犬や猫の問題は、社会全体として検討すべき内容とも言える。しかし、団体としては、人と動物が共存できる社会の創造に寄与したいとの意向があるが、避妊去勢手術の実施やえさやトイレの管理などは、その管理よりも倉敷市や保健所等の担当部署との連携で、よりスムーズな活動につながると考える。主たる活動の内容に検討を加え、非営利活動法人としての効率的な動き方に修正を加えることで、より効果的に人と動物の共存を図れるとも思われる。また、飼い主側へのモラルや指導を含めた啓発活動までを視野に入れた活動につながるようさらに検討が望まれる。ホームページやその他の情報源をうまく活用することも必要である。同様に、地域のコミュニティ組織との連携も重要になると考える。		

順位	6 位		
事業名	コミコミ麻雀の普及・推進		
提案団体	コミコミ麻雀を広める会		
事業費	96,000円	補助額	50,000円
事業概要	特大碑を使用して、ペアで相談しながら8人で行う、三ない健全麻雀を普及推進し、地域での新たな楽しみづくりや友達づくりに役立てるとともに、「脳トレ」や「筋トレ」の効果による介護予防、認知症予防にも貢献できると考える。		
講評	<p>介護予防や高齢者の居場所づくりはもとより、コミュニケーションの輪の広がりなど、多くの成果が期待される活動内容となっている。</p> <p>平成22年11月1日に活動を開始したばかりで、会員も5名であるが、少子高齢化社会に合致した取り組みである。期待が大きい反面、計画の実現性・継続性の不安が考えられる。その点を十分に対応されるとよいと考える。</p> <p>プレイベントを実施するなどの努力は見られるが、どの程度の希望者がいるのか、ニーズの調査をする必要がある。また、自治会や地区社協、デイサービス事業などと連携したうえでの展開を期待する。</p>		

公益的自主事業部門（はばたきコース）

順位	1 位		
事業名	倉敷川再生活動－生命あふれる清流に－		
提案団体	蔵おこし湧々		
事業費	270,000円	補助額	200,000円
事業概要	<p>ホテルやカワセミの住める川づくりのための講演会や水辺コンサートを開催するとともに、美観地区を中心に、水辺の生き物調査、親子で入ろう倉敷川、児島湖までの舟下りや水質浄化・清掃活動を実施し、継続的に倉敷川の清流保全のための市民活動を普及する。</p>		
講評	<p>事業計画書や予算書など活動計画案は非常に充実しており、着実な活動展開につながる事が予想できる。提案団体はこれまでも同様の事業を手掛けており、この豊富な経験と成果を点検・評価することで、今後の工夫改善につながり、活動のさらなる充実・発展を期待する。</p> <p>活動内容では、地域の学校との連携を通して、これからの人材を育てる意味からも、子どもやその保護者の意識啓発が望まれる。また、体験学習や講演会などのイベントも計画され、地元根付いた活動になっている。目的が明確であり、成果が着実に積み重ねられてきているので、今後も事業を継続してもらいたい。</p>		

順位	2 位		
事業名	鷺羽山の景観保全と社会教育推進を図る活動事業		
提案団体	特定非営利活動法人 鷺羽山の景観を考える会		
事業費	155,000円	補助額	139,000円
事業概要	<p>鷺羽山の景観を維持するために、倉敷市民を対象とした清掃活動や樹木のせん定・伐採を行う。また、市内の児童・生徒・市民を対象とした自然教室観察会やクラフト教室を実施し、社会教育の推進向上に向けた活動を展開する。</p>		
講評	<p>過去に、国立公園の景観を取り戻す取り組みなどもあり、長期にわたる多くの賛同を得た活動がすでに見られる。活動の拠点が鷺羽山という県内有数の観光スポットであるため、観光客を対象にしたアプローチや、観光振興の視点からも集客動向の分析が必要となる。また、これまでの活動を地域の子どもたち次世代に受け継ぐという継続の観点からも、啓蒙活動や、周知にも工夫をされたい。</p> <p>提案団体は、活動実績を積み重ねて平成22年に法人格を取得し、会員数も100名以上となり組織的に充実しているため、地域住民を巻き込んだ今後の飛躍が期待される。</p>		

順位	3 位		
事業名	託児付きスクラップブックング講習		
提案団体	岡山スクラップブックングクラブ		
事業費	350,000円	補助額	200,000円
事業概要	託児付きでスクラップブックング教室を開催する。託児は、ただ預けるだけではなく、子どもも楽しめる場となるよう手遊びや絵本の読み聞かせなどを行う。また、スクラップブックングを通して、母親たちの癒しの場となる居場所づくりになる。		
講評	日ごろ、子育てや家事に追われている母親を対象に、託児付きのスクラップブックング教室を企画されたことは、高く評価できる。母親の憩いの場を提供し、スクラップブックングという作業を通して、気分転換や息抜きができ、ストレスを溜めない生活へのアドバイスとなると言える。非常に楽しそうな事業であるが、公益性を考え、より広がりのある事業となるよう期待する。事業の目的も講座の内容も充実しているが、1回の参加が15名程度であり、月に2回程度開催予定の会に、毎回同じメンバーが参加する必要もあるのかなど、より多くの人に参加してもらえる工夫を検討されたい。		

順位	4 位		
事業名	公共施設に設置の車椅子の清掃		
提案団体	特定非営利活動法人 身障スマイル		
事業費	10,000円	補助額	9,000円
事業概要	公共施設には車椅子が設置されているが、管理が十分とは言えない面も見受けられる。そこで障がい者でもできる社会貢献の一環として、施設の了解をもらい、定期的に車椅子の清掃、タイヤ空気のチェック等を行う。		
講評	<p>公共施設に設置されている車椅子の清掃を通して、障がい者の社会参加や社会貢献へとつなげ、社会との関わりの重要性を認識し、相互支援活動として位置付けられる活動である。自分たちのできることから始めようとする活動は、非常に共感できる。遠くに出掛ける活動であるので、ボランティア保険の活用など検討されたい。</p> <p>活動回数は、1年間に毎月1回、1か所または2か所で実施する予定であるが、活動内容も堅実であり、費用も最小限に抑えられている。現在は活動内容を車椅子の清掃活動に特化しているが、今後の展開として、研修会や合同ミーティングを開催するなど、より幅を持たせた効果的な事業となるよう期待する。</p>		

順位	5 位		
事業名	第二回くらしき巡りカルタ大会		
提案団体	吉備の国クラスター協議会		
事業費	330,000円	補助額	200,000円
事業概要	平成22年の国民文化祭において、県民提案事業で開催した「くらしき巡りカルタ大会」を継続開催し、倉敷の魅力を市民および県外観光客にPRし、倉敷のことを好きになってもらう。		
講評	<p>第一回のくらしき巡りカルタ大会の成功と反省、特に告知不足を踏まえて、ポスター・チラシ作製に重点を置いたことは評価できる。しかし、さらに充実した大会へとつなげるためには、Web等の多様な媒体を活用した積極的な情報発信が望まれる。</p> <p>完成度の高い美しいカルタなので、小学校や公民館などに積極的に配布することで、活用方法はさらに広がると考える。しかし、カルタ大会は年に1回程度であるため、開催頻度に検討が必要とも言える。さまざまな地域で予選大会を行い、倉敷物語館で本選を開催するなどして、広範に普及させることで、倉敷のPRにつながると考える。カルタ大会に限らず、カルタの普及活動を通して、さらに地域に貢献されることを期待する。</p>		

順位	6 位		
事業名	障がい者就労体験・遊休農地でエコプロジェクト		
提案団体	特定非営利活動法人 ワークスコープ岡山支部		
事業費	500,000円	補助額	200,000円
事業概要	障がい者と一緒に遊休農地を借りて春～秋はヒマワリ、秋～春夏は菜種を育て、搾油する。産業廃棄物となっている伐採された真備の竹を粉砕し、自分たちの手ですき込み・コンポストなど複数の方法で堆肥化、畑でリユースする。それをきっかけに就農モデルを構築、将来的に障がい者の就労支援へ発展させたい。		
講評	<p>真備のNPO法人に通う障がいのある人たちと、地元にある遊休農地を借りてヒマワリ栽培などを行うエコ農業体験プロジェクトである。環境への配慮や遊休農地の有効利用など、地球に優しい取り組みとなっている。本事業が、障がい者の生活のリズムを改善し整える、共同作業を通しての学び、就労への意欲、そして、就労体験へとつながるなど、ひとつの就労モデルになることを期待する。反面、参加が3名と少人数であるため、活動の幅を広げるなど、より充実されるような工夫を望む。事業内容として、障がい者への社会復帰や意欲の向上など大きな取り組みへと展開されることへの期待も大きく、評価が高かった。また、その地域独自の活動グループや団体と連携を持つことでより充実した事業になると考える。</p>		

順位	7 位		
事業名	馬入山を愛し地域の人たちと健康的な生き方を研究する		
提案団体	馬入山を愛する会		
事業費	243,000円	補助額	193,000円
事業概要	<p>馬入山の「周回遊歩道」を開発整備(現状は山頂までの片道のみ)してその利便性を高め、普段から散歩や軽い運動など、活用しやすい環境作りを実施し地域へ貢献する。</p> <p>馬入堂山城蹟も存在する山頂付近に展望表示板や歴史についての表記板などを設置し、地域住民の郷土への理解を深め、特に若い世代の人たちの郷土愛を育てる。</p>		
講評	<p>どちらかと言えばハード面の条件整備に重点が置かれているようであるが、馬入山の歴史的な理解を深め多世代の利用促進を図るためにも、ソフト面の工夫が求められる。</p> <p>今回の活動計画では、周遊コースの整備・設置構想など工夫が見られる。また、地元の郷土愛には心を打たれるものがある。しかし、活動エリアがごく限られた地域になっている感も否めない。たとえば地元のみで完結するのではなく、他のエリア、たとえば井原線の沿線にも情報発信して、多くの人が集まるイベントを企画するなどの工夫を盛り込むことが望まれる。</p>		

順位	8 位		
事業名	倉敷コウノトリの会		
提案団体	倉敷コウノトリの会		
事業費	227,000円	補助額	200,000円
事業概要	<p>コウノトリと共生する自然環境を目指し、活動を推進していく。そのために里山、田んぼ、川などの環境を整備してコウノトリが長く滞在できるように条件を整えてコウノトリも住める豊かな環境を作ることを目指す。ビオトープの整備、講演会などを通して環境保全に称する啓発を行う。</p>		
講評	<p>コウノトリと共生する自然環境を目指しており、会員を中心に、一般市民や小学生などを対象に講演会や写真展の開催などの活動は、非常に有意義であると考え。休耕田の借地やビオトープとしての整備など、環境に配慮した活動となっている。また、活動内容が環境保全意識の啓発であり、社会全体へとつながっているため、行政と連携することで、より効果的な活動へとつながると考える。一方で、市民に対する啓蒙を進めることによって、見学者が増加し、コウノトリの生息環境を壊す可能性もあり、難しい活動である。コウノトリと共生するためにも、地域の住民や農家の理解を得て、農業や地域のブランド化へと推進させるなどの検討をされるとよいと考える。</p>		

協働事業部門

順位	1 位		
事業名	倉敷音楽物語		
提案団体	パライスタミュージック		
事業費	710,000円	補助額	500,000円
事業概要	倉敷物語館等を利用し、月に1回程度アジア、南米、アフリカ、邦楽、インド音楽、ジャズなどの世界の様々な良質な音楽会を開催する。		
講評	<p>イベントを盛りたて、活性化することで、観光客にも優しい、地元市民にも楽しい機会を提供することになる。</p> <p>倉敷美観地区には、観光客にとって魅力的な昔ながらの美しい街並みがある。そこへ様々な趣のある音楽の参加、充実を図ることで、さらに世代を超えた楽しめる空間へと生まれ変わる可能性がある。多岐にわたるアーティストを招き、倉敷を大いに盛り上げてもらいたいと考える。また、行政機関と協働することで効果はさらに大きくなると言える。</p> <p>イベントの日程調整やそれを広報する効率的なシステム、内容を、早めに全国に発信する工夫など検討されたい。</p> <p>倉敷物語館についても、プログラムやイベントの日程や内容情報など、例えば市のホームページから検索できるシステム作りなど広報システムを検討することで、さらに円滑な活動につながると考える。</p>		

順位	2 位		
事業名	「X'masイルミネーションin水島」開催		
提案団体	水島を元気にする会		
事業費	1,500,000円	補助額	500,000円
事業概要	12月18日(土)の15:00からクリスマスイルミネーション点灯式イベントを開催する。12月18日(土)～12月25日(土)までの期間、イルミネーションの点灯を行う。		
講評	<p>住民が参加できるイベントであり、水島地区の活性化にとって、非常に有意義な活動内容であると言える。</p> <p>協働する市民団体も倉敷芸術科学大学や、地域の子ども会など、地域に根ざした団体との連携を元とした活動となっている。動員数、イベントとしては素晴らしい活動企画内容であり、効果が期待できると考える。ただし、期間が限定されるため、期間限定のイベントに限らず、年間を通じた活動へとつながるよう充実を図っていただき、さらに活動の輪を広げていただきたい。今回の主な活動内容は、クリスマスのイルミネーションである。このような地域に根ざしたイベントを通して、水島が元気になるものと十分期待できる。また、行政と協働することで、より効果的で意義のある活動となると考える。</p>		

順位	3 位		
事業名	多国籍の花咲く！まちづくり推進事業		
提案団体	多文化共生まちづくり倉敷の会		
事業費	509,000円	補助額	500,000円
事業概要	外国人市民が地域社会にとけ込み、安全かつ安心して暮らせる仕組みづくりを支援するとともに、日本人市民とともに地域づくりを行う多文化共生のまちづくりを推進する。		
講評	<p>平成22年に活動を開始したばかりであり、会員数も8名であることから、国際課と十分な協議を重ねて、事業の目的に沿って入念な計画のもとに実施されることを期待する。</p> <p>今年度のめばえコースから着実に事業内容がステップアップされており、取り組み内容に広がりが見られる点が評価できる。また、同じ倉敷市でも外国人分布には多少の差があることから、地域によってニーズが異なる点に留意する必要がある。例えば、児島地区の企業では、非常に多くの中国人が就業目的で在住しており、日本語教育に対する需要が高い。そのため企業の協力を得ることなども今後の活動内容に盛り込んでいくことが重要な視点になる。より多くの国々を対象にすることも検討されたい。</p>		

II 平成22年度実施事業の評価および継続審査について

【選考過程】

事前に配布された、事業報告書、収支精算書、協働事業評価書等を基に、はばたきコース、協働事業部門については、2月19日に開催された事業実施報告会において、提案団体による事業実績や収支決算に関する説明と、担当課による意見発表（協働事業部門のみ）、審議会委員による質疑応答を行った。

さらに、協働事業のうち、次年度への継続を希望する事業については、継続することの有効性、事業内容の発展性、費用負担の適正性について審査した。

めばえコースについては公開での報告会を行わず、事業報告書、収支精算書に基づいて2月19日に開催された審議会で審査を行った。

【評価基準】

公平性を確保するため、提案事業の関係者となる委員は該当する部門の審査を外れることとし、各委員ごとに採点を行うこととした。提案事業ごとに各委員100点を持ち点とし、全委員の得点の平均点を評価点とした。

継続提案事業の採択基準は、評価点が60点以上、継続審査点が24点以上の両方を満たすものとした。

【審査基準】 <評価項目および配点（100点満点）>

市民企画提案事業評価基準(100点)

審査項目	審査のポイント	コース・部門		
		めばえ	はばたき	協働
① 目的 (公益性・重要性)	1 事業の目的が達成されているか	○	○	○
	2 不特定多数のもの利益の増進に寄与するなど公益性の高い事業となったか	△	○	○
	3 課題の解決に結びついたか、またはそのきっかけとなったか	△	○	○
	配点	25	25	20
② 事業内容 (計画性)	4 事業計画どおり実施されたか(イベントなどの時期・回数)	○	○	○
	5 計画通りの参加があったか、または工夫があったか	○	○	○
	6 実施にあたり、十分な準備期間・手段が取られていたか	△	○	○
	7 市民や参加者の理解を得られたか	△	○	○
配点	25	25	20	
③ 費用対効果	8 経費に見合う効果があったか	○	○	○
	9 過不足のない収支であったか	○	○	○
	10 受益者負担を求めるなどの工夫があったか	△	○	○
配点	25	20	20	
④ 人材配置	11 計画を遂行する技能・能力(人的資源)があったか	△	○	○
	12 他の団体と協働するなどの工夫があったか	△	○	○
	13 熱意を持って事業に取り組んだか	△	○	○
配点	△	10	10	
⑤ 協働性	14 行政も事業の意義を理解し、目的を共有して事業を実施したか	△	△	○
	15 協働することで相乗効果があったか	△	△	○
	16 提案団体と市の役割分担は明確かつ妥当なものであったか	△	△	○
配点	△	△	20	
⑥ 独自性 ・将来性	17 先進的・先駆的な事業内容であったか	○	○	○
	18 発展性・普及性がある事業内容であったか	○	○	○
	20 事業を通じて団体が成長したか	○	○	△
配点	25	20	10	

市民企画提案事業継続審査基準(40点)

審査項目		配点
A 継続の有効性	継続することにより、前年以上の効果が見込めるか 提案団体と担当課の双方が、事業継続の効果が高いことを見込んでいるか	20
B 事業内容の発展性	22年度の事業実施結果を基に、事業内容のステップアップ等を行い、事業の発展性が見込まれるか	10
C 費用負担の適正	予算配分は適切であるか 経費節減を図り、無駄のない予算となっているか 自己資金の調達は担保されているか	10

【部門別講評】

1) 創業期活動部門（めばえコース）

創業期活動を支援するためのめばえコースの活動では、市民目線からの素朴な活動企画や、さらなる活動へと継続の兆しが見られるものもあり、今後の活動へと期待される場所である。団体ごとに様々でユニークな発想があり、市民企画提案事業としては、団体の参加件数や事業の方向性として、量質ともに充実している。自主自立した市民公益活動として、多様な展開の礎となり、適正に補助金を活用することで住みよいまちづくりへの貢献となっている。

2) 公益的自主事業部門（はばたきコース）

公益的な自主事業を支援するためのはばたきコースの活動は、どの団体も活気があり、チームワークよく、仲間の力があり、よくまとまっていた。それが地域の人や周囲に力を与えていると感じられた。また、中心となる企画発案者が元気で明るく活動の発信を行うことでさらに活動が広がっていると考えられる。今後さらに、地に付いた活動へと飛躍されることを期待する。

活動の継続性という観点から、中心となるリーダーの継承など、指導者または主となる活動者のバトンタッチも念頭に進めていく必要がある。活動を上手に展開できている団体では、地域や他団体との連携を密にするなど独自の工夫が見られる。枠に限りのある補助金ではあるが、効率的な活動を行うことで、コストパフォーマンス的にもよい影響が出ている。団体の中には、独自に100の事業者から協賛を得るなど、参加者数、動員数も市民公益活動としては非常に充実した活動につながられている。

また一方、わずかな力で、地道な活動を丁寧にしてきた団体の存在も重要である。車椅子の充足状況を把握してまとめ、提案に結び付け、さらに一工夫を加えたことも重要である。

具体的な活動状況では、PR活動でも、チラシのみに頼るのではなく、ローラー作戦などの地道な活動や揃いのジャンパーを着た目立つ活動などにより充実した参加者数へとつながっていることから、その重要性を認識されたい。

3) 協働事業部門

協働事業部門では、市民提案コースと行政提案コースの2コースの設定があった。

成果報告の内容と方法について、要点を押さえた明確な報告となっている団体と、実際の活動内容が、分かりにくい団体があったのは否めない。また、協働による事業実施という観点から、市民活動団体と行政が連携を密にし、実施するように努力する必要がある。

実績報告書については、お互いの主張と内容が食い違わないように意思を統一したうえで、報告書作成などの事務的な作業には行政側が一端を担ってもよいと言える。

事業の実施では、市民団体が主で実施している場合と、担当課が事業の方向性を示したうえで、団体が実施する場合と、両側面の事業が見られたため、偏りの起こらないように、うまく連携を取ることも必要である。団体の特異性から活動内容によっては、活動終了後、団体の中で中心となった活動者が疲弊しないように、担当課がある一定の助言も含めた配慮を行う必要もある。

また、今回の東北地方を中心とした地震が原因で中止となった事業が1件あった。天災とは言え、準備を進めてきた団体、担当課にとっては心残りであったと思われる。準備の過程で得られた成果や実績を今後の活動につなげていただきたい。

【審査結果および個別講評】

創業期活動部門（めばえコース）

評価	B
事業名	託児付きスクラップブックング講習
提案団体	岡山スクラップブックングクラブ
事業概要	子育て中の保護者を対象に、市内公共施設等でスクラップブックング教室を開催する。作品発表や交流の時間を設け、お母さんの新しい息抜きの手段を提供する。
講評	<p>スクラップブックング教室の実施状況が詳細に整理されており、計画に沿って着実に取り組みを進めてきた様子が伝わってくる。全17回にわたって実施され、参加者数も多く、費用対効果が高い。</p> <p>また、保護者同士の交流に加えて、託児された多くの子どもたちが遊びなどを通して社会性を学ぶよい機会となっていることも評価できる。</p> <p>一方で、スクラップブックングという趣味的要素の強さから、公益性に少し疑問を感じるとの意見があったことも付記しておきたい。</p>

評価	B
事業名	くらしき多文化共生まちづくり推進事業
提案団体	多文化共生まちづくり倉敷の会
事業概要	在住外国人が快適に生活できるように、防災研修会の実施、倉敷国際ふれあい大運動会への参画、研修会を主催する。
講評	<p>倉敷の地に多文化が共生し、ともに住みよいまちづくりを目指すことは重要なことと言える。また、企画や実施内容は、大変意義深く、意味のあるものであったと考える。</p> <p>今回の活動が、発展性・普及性のある事業だけに、単年で終了せず、地域に根付いた活動になっていくことを期待する。また、催事については、参加者数に偏りがあるようにも感じられる。事前に地域の関係者、関係部署、メディア、インターネットなど、できる限りの手段を用いて、開催を周知するために、PR活動などの工夫が望まれる。</p>

評価	B
事業名	こどもが行う理科工作を支援する
提案団体	こどもが行う理科工作を支援する会
事業概要	子どもの科学技術に対する興味関心を育てるため、小学5年生・6年生を対象に、夏休み中に4回、発電機作成・電子オルゴール作成等の理科工作実験を行う。
講評	<p>子どもたちの「理科離れ」が深刻な課題となっている現在、幼少時から理科に親しむ機会を持つことの重要性を踏まえた事業として評価できる。</p> <p>理科工作教室を夏休みに行くことは、日程的に適切であったと考えられる。今後は、①学年を現在の5・6年生から低学年まで幅を広げる、②地区の小学校との連携を深める、③地域を拡大して活動エリアを拡大するなどして、参加者を増やすとともに、活動のさらなる充実を期待したい。なお、少額でも参加費を徴収してはどうかとの意見が見られた。</p>

評価	B
事業名	就労継続支援A型 よろこびの庭 利用者の職場環境改善
提案団体	特定非営利活動法人 よろこび
事業概要	作業所の利用者増員のため、備品整理用ロッカーを設置し、利用者が気持ちよく通える環境を整える。
講評	<p>ロッカーの設置を通しての職場環境を整えることは、重要なことであると言える。しかし、補助金をすべて備品の購入費に費やすのではなく、どのように事業や活動につながったかの報告も望まれた。</p> <p>さらに活動を広げることを検討する場合、就労継続支援に直接関わる関係者のみの利益享受に終わるのではなく、一般市民の参加に結びつくような活動を視野に入れる工夫などが望まれる。</p>

公益的自主事業部門（はばたきコース）

評価	A
事業名	倉敷川再生活動—生命あふれる清流に—
提案団体	蔵おこし湧々
事業概要	倉敷川舟下り調査, 親子で入ろう倉敷川クリーン&ウォッチング, 水辺のコンサート等の取り組み, 倉敷川の清掃活動により, 川と人との絆づくり, 川とともに暮らしがある魅力的なまちづくりを支援する。
講評	<p>水辺の環境改善について, 市民活動の一環において, 魅力的な街づくり活動への企画運営は, 意味があると考ええる。</p> <p>活動回数や, 活動内容, 参加人数も充実しており, 毎回の催事ごとに, 一定内容で一定人数は確保されていた。今年度の事業に至る過程で, 長年の実績があり, 地元市民に密着した活動になっていると言える。ただ, 水質調査や「えひめ AI-2」作成など, 活動内容によっては, 参加者に偏りがあるとも考える。倉敷の水辺の実態を知っていただくためにも, 多くの活動, また地道な活動も含めて, 市民を募集して活動の輪を広げていくことを, さらに期待する。</p>

評価	A
事業名	「環境最先端学区」実現事業
提案団体	マリノ児島地区社会福祉協議会
事業概要	①コスモスの花いっぱい運動②ゴミ減量運動③省エネ運動④水質浄化運動を通し, 地域を挙げて環境改善に取り組み, 「STOP温暖化児島小学校区」をメインテーマに, 環境最先端の学区を目指す。
講評	<p>環境改善の取り組みで, 非常に多岐にわたる内容の事業を進行達成できていると考ええる。実施内容の具体についても, 花を植え, 育てる。ごみも減量する。省エネや水質浄化にも地域の視点を拡大させるなど充実している。「花の風あいさつロード」というネーミングも PR しやすく, 地域の住民の思いを一つにすることを促進しているとも言える。</p> <p>コスモスやマリーゴールドなど水やりや草取りを含め, 興味をひきやすい活動であり, 色とりどりの花できれいに整備されたロードを皆でウォーキングするのも楽しい活動である。コスモス委員の募集や, コスモスの花びらコンテストなどユニークなイベントを実施しており, 住民も楽しみながら, 地区社協との連携を深められたのではないかと考える。</p>

評価	B
事業名	「X'masイルミネーション in 水島」開催
提案団体	水島を元気にする会
事業概要	水島地区に巨大クリスマスツリーを出現させ、歌や踊りのステージ、地元の方々の出店、バザー、ゲーム等、子どもたちにはサンタからのプレゼントを配り、楽しい催しで楽しく住みよい元気のある町づくりに取り組む。
講評	<p>水島地域の活性化のための大きな輪となり、今後にも大いに期待が持てる点を評価したい。ボランティアや企業の貢献により成り立っている面も多く、盛況なイベントとして成功を収めている。</p> <p>認知度が高まっている事業であるので、この賑わいと活気を地域に根ざした活動として、日常からの多様な展開を期待する。また、子どもたちが地域に誇りを持てるイベントに育てていただきたい。</p> <p>今後は、参加者に対する満足度調査などを行い、さらなる改善・充実を図ることを期待する。なお、期間が短く、さらに、大きなイベントが1日のみであることが課題であるとか、賞品に係る経費の比率がやや高いとの意見も見られた。</p>

評価	B
事業名	公共施設に設置の車椅子の清掃
提案団体	特定非営利活動法人 身障スマイル
事業概要	公共施設には、車椅子が設置されているが、清掃されていないので汚いままになっている。きれいにすることで、車椅子利用者に気持ちよく利用してもらおう。
講評	<p>公共施設にある車椅子の清掃に、団体活動として着手された点を評価する。</p> <p>活動回数も充実した回数を設定されていたと言える。ただ、車椅子清掃について、清掃活動のみに終始している感が否めない。市からの補助金を元に運営している活動であるので、清掃活動が一般市民や小中学生、ボランティアを巻き込んだ輪となる活動へと進められることを期待する。</p> <p>清掃活動中に、車椅子の故障や不具合などにも遭遇されたと報告があったが、清掃・修理にとどまらず、事前の点検へとつなげてゆくことで、利用者にとって安全で快適な車椅子となるなど、さらに活動が充実したものと考ええる。</p>

評価	B
事業名	「不登校児童,生徒及びその保護者を支える為の研修講座」開催事業
提案団体	倉敷不登校ネットワーク
事業概要	不登校児童・生徒,発達障がい理解の深い講師を招き,不登校児童,生徒とその保護者を支えるための研修を行う。支える側のかかわりの大切さを理解してもらい,児童・生徒の「生きる力」を支援する。
講評	<p>難しい問題に身近な立場でサポートしてくれる大切な事業である。研修講座に対する満足度アンケートで点検評価を実施し,改善に向けて取り組んでいる姿勢を評価する。根気のいる事業であるが,今回の実績を踏まえて,ますます充実した内容になることを期待する。</p> <p>今後とも,他の団体等や学校とダイレクトに連携した取り組みに発展させていただきたい。また,親の会やサロンなども組み合わせながらの展開が望まれる。さらに,研修講座の形態として,対話型,ワークショップ型の実践的なプログラムも検討されたい。開催の回数が3回であったが,少しずつ増やしていくことも併せて検討されたい。</p>

協働事業部門

評価	A
事業名	乳がん撲滅キャンペーン！！と乳がん術後のケア！！
提案団体	QOL” 輪唱” 岡山 テイクハート
事業概要	昨年、一昨年に引続き、地域などのイベントに参画して、乳がんの正しい知識と早期発見のためにマンモグラフィおよび自己検診の重要性についての講話を通じて、地域に密着した普及活動を行う。体験者による術前・術後の精神面および日常生活のサポートの大切さを知ってもらうとともに、必要な人にはサポートを行う。
講評	<p>毎年手法を考え、告知に力を入れた点を評価する。団体本来の活動においても、ぜひ協働を進めていただきたい。また、非常に公益性の高い意義深い事業内容であり、計画的に実施、進行され、一定の成果が見られる。実施記録が丁寧に作成されており、活動内容についての理解がより深まる。数値に裏付けられた効果が表れており、今後の自主活動にも期待できる。</p> <p>担当課との連携・協働により、活動が軌道に乗りステップアップして、団体として成長しているように感じる。逆に今年度は、活動が過多に偏ったとも考えられる。</p>

評価	A	継続の可否	可
事業名	親育ち子育て ハッピーサポート事業		
提案団体	特定非営利活動法人 ていーたいむ		
事業概要	高機能広汎性発達障がいを持つ小学生から18歳までの市民に、先進的な手法でサポートする事業を行う。取り組みを関係機関等に情報提供し、本人の自立、家族、社会の理解を促す。		
23年度	事業費	1,798,000円	補助額 500,000円
講評	<p>時代が求めるタイムリーな企画であり、障がいを持つ親の立場からさまざまなサポートをしていく提案は重要であり、活動の輪が広がりつつあることを評価する。参加者が多く、アンケート結果からも参加者の満足度も高いことが理解できる。事業計画自体も綿密に策定されており、支援の必要性を感じる。団体の特性も活かされており、大学、行政との協働も評価できる。メルマガによる効果的、効率的な情報発信ができています。検討課題としては、次のような意見が見られた。重度～軽度の子どもに対して、個に応じたどのように対応すべきなのか。SNSなどにより、参加者の地理的問題の低減を図り、同じ問題を抱えた人々のつながりのネットワーク化を検討されたい。</p> <p>【継続の必要性】: 共生の根幹を成す取り組みであり、本人と保護者、学校関係者、地域の理解が必要であると考え。成果が現れている段階なので継続して対応すべき課題であると考え。</p> <p>【継続の条件・要望】: 本事業は行政の通常業務として取り組むべきであると考え。23年度の取り組みの中で、これをモデルに担当部署で制度化できるかどうかを検討していただきたい。他団体との連携に向けての努力も望まれる。</p>		

評価	B	継続の可否	可
事業名	『着物でぶらり！笑顔でパチリ！！ようこそ、倉敷へ』プロジェクト		
提案団体	『着物でぶらり！笑顔でパチリ！！ようこそ、倉敷へ』プロジェクト		
事業概要	市民参加型で心のこもった「倉敷らしさ」をアピールする。手軽に着れる着物の試着や、四季ごとに開催する和 문화体験セミナーを通して倉敷の個性と魅力を活かした地域活性化を図る。		
23年度	事業費	550,000円	補助額 330,000円
講評	<p>和文化を観光客・市民に広めていく活動であり、「倉敷」のブランドづくりや観光振興に貢献する点で今後の展開に期待する。これまでの成果や課題を踏まえて、23年度は新たな企画が追加提案されている点も評価できる。今後は、広報やPR、その他参加しやすい場所や時間などの工夫が求められよう。観光客の参加が多くを占めているが、市民の参加を増やすような工夫も望まれる。</p> <p>【継続の必要性】:倉敷は観光のまちであることから、重点的な取り組みとして、行政との連携を一層深めて、息の長い活動になるよう工夫されたい。そして、日常的な活動として定着することを期待する。</p> <p>【継続の条件・要望】:次のような点に注意されたい。</p> <p>1)他団体とのつながりを期待する。2)商店・行政機関職員などの着物着用・商店への協力の取り付けを望む。3)パネル展を開催してはどうか。4)セミプロのカメラマンは不要ではなかろうか。5)セミナーへの参加者を増やす工夫をしていただきたい6)宿泊につなげられるような工夫に期待する。</p>		

評価	B	継続の可否	可
事業名	倉敷の水源・酒津からホタル復活プロジェクト		
提案団体	酒津のホタルを親しむ会		
事業概要	<p>・ホタル幼虫飼育の継続</p> <p>・昨年建設したビオトープ内で得られた実験結果を元に、農業用水路におけるホタル幼虫の上陸実験。</p>		
23年度	事業費	295,000円	補助額 70,000円
講評	<p>倉敷の水源、環境問題を考えるうえで、ホタルをテーマに様々な活動を企画運営されたことは、分かりやすく、評価できる。ホタルプロジェクトとしての活動では、水生生物の観察会やヘイケボタル救出プロジェクトなど企画内容も一般参加者の興味を引く内容となっている。イベントの企画回数も充実しているが、参加人数が、回によって、まちまちである。</p> <p>【継続の必要性】:小中学生の参加も1回のトピック的な参加で終わるのではなく、ホタルの観察やビオトープの管理、ホタルの救出など、一連の活動への参加を通しての学びへとつながるような企画に発展されることを期待する。</p> <p>【継続の条件・要望】:水源や川の環境保全としての取り組みでは、同様の理念のもとに活動している他団体との連携強化も視野に入れていただきたい。</p>		

評価	B	継続の可否	可
事業名	しょうがい者と地域の和やかなふれあい事業		
提案団体	特定非営利活動法人 いちご一会		
事業概要	障がい者・高齢者が地域に受け入れられ、自分らしく生きる生活術を身に着ける体験活動を行う。①地域の方との交流②本人に対する生活支援③就労の準備を支援④家族への支援を行う。		
23年度	事業費	582,000円	補助額 436,000円
講評	<p>趣旨は非常に大切に、居場所として機能している反面、想いと実行能力のバランスが取れていない活動が一部見られる。延べの参加者数は多いが、1回1回が少ないのが残念である。事業の成果をより多くの市民に知ってもらうための工夫も求められる。多種多様な事業を展開しているが、効果を検証して、活動内容の精選化と重点化を図る必要がある。</p> <p>【継続の必要性】:趣旨と役割は大切なので、事業を継続し発展・充実させていくための様々な角度からの支援が求められる。今回も多くの成果が見られるので、ぜひ続けていただきたい。活動内容と回数などを見直し、地域の人々の理解を得て、参加しやすい企画にすることも検討されたい。</p> <p>【継続の条件・要望】:マネジメントの部分で専門家の助力をいただくなど、運営の改善をすることを検討されたい。また、スタッフ不足解消のためのPRを行っていただきたい。若い世代の参加を期待するとともに、スタッフ、協力者を増やす工夫をされたい。活動が多く、自立できるプログラムかどうか分からないため、活動内容の見直しをされたい。</p>		

評価	B
事業名	三島中洲の資料情報の収集と台帳化
提案団体	中島学区郷土を学ぶ会
事業概要	倉敷市内の文人墨客の一人である三島中洲の偉業を知るとともに、その研究を進めるにあたっての基礎資料の整理を進める。将来予定する研究については、東京・二松学舎大学と協力し、相互に資料と研究データを交換する。それだけでなく、三島中洲顕彰活動の方向や、まちづくりの材料にもつなげる。
講評	<p>地元の宝とも言える偉人に学ぶことにより、地域を知り、地域に関心を持つことへの一助になると思われる点を、大いに評価する。今後は、認知度の向上をめざしてPRにも力を入れて、さらなる展開を期待する。ただし、活動としては興味深いのが、そこまでニーズが高いのかどうか確認が求められる。</p> <p>本事業は3年目であるが、この提案をきっかけに担当部署が、行政の取り組みとして新たに制度化したことは非常に意義深く評価する。これによって本事業の一部については引き続き、市との協働も可能となった。</p>

評価	B	継続の可否	可
事業名	倉敷観光キャラバン隊		
提案団体	倉敷の踊り振興会		
事業概要	観光客も年々減少の傾向をたどっているため、元気のある明るい倉敷(町おこし)を作るため、白壁の町に似合う着物を着て暖かいもてなしの心で道案内をする。又外国の方がこられると、日本伝統文化のお茶を体験をしていただき、帰られた時に、倉敷での楽しかった事を伝えていただき、リピート客を増やし美観地区や駅周辺の活性化になる様な思いで実施する。		
23年度	事業費	76,000円	補助額 19,000円
講評	<p>観光キャラバン隊として、たすきを揃えてのPR活動は、観光客へのPRとしては非常にインパクトがあり、分かりやすい。日本の和の心で、おもてなしをするというのは、ユニークであり、倉敷美観地区とイメージが結び付きやすく評価できる。活動内容は、分かりやすく、予算も検討しながら、最大限の効果を得る努力の跡が感じられた。</p> <p>【継続の必要性】:今後の活動の方向性として、観光キャラバン隊ということであれば、活動の拠点をあまり広げない方向で、例えば美観地区を中心に活動をするという、継続性を重要視していただくことが大切となる。</p> <p>【継続の条件・要望】:類似あるいは同様の理念で活動する他団体との連携強化や、活動参加を、一般市民から募るなど検討されたい。</p>		

評価	B
事業名	たんぼぼの花を咲かそう・パートⅡ
提案団体	特定非営利活動法人 倉敷子育てネットワーク・たんぼぼファミリー
事業概要	男性の育児への参加を促すため、小学生以下の子どもを持つ男性の料理教室を行う。父親の仕事のストレスや母親の育児ストレスを解消し、健康的な家族関係を構築するため、健康体操、健康イベントを行う。
講評	<p>男性の育児への参加を促すことは、家庭の中で家族みんなが協力し合って、子育てをするという空気を作り出し、家族全員参加型の楽しい育児へとつながると考える。</p> <p>お父さんの料理教室や、夫婦で取り組む健康体操など、事業内容は工夫されていたと考える。今後の課題として、懸念されることは、「男性の育児への参加」を謳い文句にした場合、基礎知識などの講座が、直接、育児とは結び付きにくいようにも感じられる。実際の参加者の意見やアンケートなどを集計することにより、今後につながる意義深い企画へと成長するとも考えられるので、是非、参加者の声を反映させる機会を作って、今後の活動へとつなげていただきたい。</p>

評価	B
事業名	竹林音楽祭
提案団体	エコプロジェクト事業推進委員会
事業概要	<p>箭田地区内の竹林で、竹を材料とした楽器等の演奏による音楽祭を行う。</p> <p>整備された緑の竹林の美しさを鑑賞していただくため、ライトアップ、竹キャンドル、竹のオブジェによる演出を行う。</p>
講評	<p>地域を設定したうえでのその地区の発展に寄与する取り組みとしては、竹林を生かした音楽祭は、継続性・発展性という点から今後の期待を含めて、評価できる。</p> <p>提案団体としての事業の方向性は定まっているように感じられる。しかし、地区における竹林の認知性や音楽との融合の意味合いを、1日だけのユニークな企画で終わらせるのではなく、地域を盛り上げる活動の一貫性を持たせたうえで、PR活動や竹林の認知度向上へ向けた事前の活動など、独自の取り組みが見えると、さらに効果的であったと考える。</p> <p>エコの発想から、竹水製品や竹の子などの販売も地域貢献に一定の意味があったと言える。継続性と地域におけるエコ活動という観点から、音楽祭を竹林で展開させる意味をさらに持たせた活動へと充実させていきたいと考える。</p>

【おわりに】

倉敷市市民企画提案事業審議会は、平成23年度新規事業の審査、および平成22年度実子事業の評価と、同事業のうち継続事業として応募のあった事業について、倉敷市からの諮問を受けた。市民公益活動団体の行う地域の活性化・課題解決に向けた取り組みには、市民と行政の協働の機運の高まりが感じられる事業が増加しつつある。さらには、地域の課題解決に向けて、時代の変化に対応した活動、領域の広がりや運営実施上の創意・工夫が多く見られるようになってきた。各団体の事業のさらなる充実・発展を期待したい。

今後の課題としては、活動の裾野の広がりや他団体との連携、市民と行政との協働のあり方、市民公益活動の理念に沿った事業内容、次世代への継承の視点、継続事業の点検・評価に基づいた改善が重要なポイントとなると考える。

末筆ではあるが、倉敷市市民企画提案事業に格別のご理解とご協力を賜り、プレゼンテーションや事業実施報告会の実施にあたり、真摯に対応していただいたすべての関係者の皆様に衷心より御礼申し上げる次第である。

倉敷市市民企画提案事業審議会委員名簿

平成22年12月17日現在

	氏 名 (敬称略)	所 属 等
	いぎ なおき 猪木 直樹	玉島みなと若旦那会
	いしはら たつや 石原 達也	岡山NPOセンター
会長	こやま えつじ 小山 悦司	倉敷芸術科学大学
	こんどう まゆみ 近藤 真由美	公募委員
	のだ よしこ 野田 淑子	元 協働の指針検討委員会委員
	ひやくもと けいこ 百本 恵子	男女共同参画人材バンク登録者
	まつお しげき 松尾 茂樹	岡山県備中県民局協働推進室
副会長	まつもと けいこ 松本 啓子	川崎医療福祉大学
	もりや けいこ 守屋 景子	男女共同参画人材バンク登録者
	もりやす わたる 守安 渉	公募委員

50音順



倉敷市市民企画提案事業審議会

会長 小山悦司様

倉敷市市民企画提案事業について（諮問）

倉敷市市民企画提案事業実施要綱（平成18年11月21日施行）第7条2項の規定に基づき、次の市民企画提案事業の採択及び評価に係る審査について諮問します。

平成23年1月26日

倉敷市長 伊東香織



記

- 1 平成23年度新規事業の採択審査
「コミコミ麻雀の普及・推進」ほか17件
- 2 平成22年度実施事業の評価
「こどもが行う理科工作を支援する」ほか18件
- 3 平成23年度継続事業の採択審査
「倉敷の水源・酒津からホテル復活プロジェクト」ほか4件

平成23年度新規提案事業一覧

部門	事業名	提案団体名
めばえ	コミコミ麻雀の普及・推進	コミコミ麻雀を広める会
	「男おひとりさま料理カンタン教室」 開講事業	シニア世代のサバイバル男料理の会
	障がいがありながらも、みんなと同じように パソコンを習い楽しみたい	特定非営利活動法人 桃の里
	倉敷モノづくり体験「バケツ・ビオトープを 作ってみよう(生物群生空間づくり)」	倉敷モノづくりLAB
	「朗読のスキルを高める研修」受講及び 朗読ボランティア事業	倉敷朗読ボランティア21年会
	犬猫保護活動及び地域猫活動事業	特定非営利活動法人 Team ちいさな足あと
はばたき	倉敷川再生活動 ー生命あふれる清流にー	蔵おこし湧々
	倉敷コウノトリの会	倉敷コウノトリの会
	第二回くらしき巡りカルタ大会	吉備の国クラスター協議会
	公共施設に設置の車椅子の清掃	NPO法人 身障スマイル
	障がい者就労体験・遊休農地で エコプロジェクト	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
	託児付きスクラップブッキング講習	岡山スクラップブッキングクラブ
	鷺羽山の環境と保全を図る活動	NPO法人 鷺羽山の景観を考える会
	馬入山を愛し地域の人たちと 健康的な生き方を研究する	馬入山を愛する会
協働部門	「X'masイルミネーションin水島」開催	水島を元気にする会
	田園サロンを拠点にした多相多世代が集う 触れ合いと助け合いの場の創造	特定非営利活動法人 友愛サロン
	多国籍の花咲く！まちづくり推進事業	多文化共生まちづくり倉敷の会
	倉敷音楽物語	パライスタミュージック

平成22年度実施事業一覧

部門	事業名	提案団体	市の主担当部署
めばえ	こどもが行う理科工作を支援する	こどもが行う理科工作を支援する会	/
	託児付きスクラップブック講習	岡山スクラップブッククラブ	/
	くらしき多文化共生まちづくり推進事業	多文化共生まちづくり倉敷の会	/
	就労継続支援A型 よろこびの庭 利用者の職場環境改善	特定非営利活動法人 よろこび	/
はばたき	倉敷川再生活動 ー生命あふれる清流にー	蔵おこし湧々	/
	公共施設に設置の車椅子の清掃	特定非営利活動法人 身障スマイル	/
	「環境最先端学区」実現事業	マリン児島地区社会福祉協議会	/
	「不登校児童、生徒及びその保護者を 支える為の研修講座」開催事業	倉敷不登校ネットワーク	/
	「X'masイルミネーション in 水島」開催	水島を元気にする会	/
協働部門	たんぼぼの花を咲かそう・パートⅡ	特定非営利活動法人 倉敷子育てネットワーク ・たんぼぼファミリー	子育て支援課
	『着物でぶらり！笑顔でパチリ！！ ようこそ、倉敷へ』プロジェクト	『着物でぶらり！笑顔でパチリ！！ ようこそ、倉敷へ』プロジェクト	観光課
	親育ち子育て ハッピーサポート事業	特定非営利活動法人 ていーたいむ	障がい福祉課
	しょうがい者と地域の 和やかなふれあい事業	特定非営利活動法人 いちご一会	真備保健福祉課
	乳がん撲滅キャンペーン！！ と乳がん術後のケア！！	QOL”輪唱”岡山 テイクハート	健康づくり課
	三島中洲の資料情報の収集と台帳化	中島学区郷土を学ぶ会	文化振興課
	竹林音楽祭	エコプロジェクト事業推進委員会	真備・産業課
	倉敷観光キャラバン隊	倉敷の踊り振興会	観光課
	倉敷の水源・酒津からホテル復活 プロジェクト	酒津のホテルを親しむ会	環境政策課

